

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和7年1月末現在
男 15,278人
女 15,161人
総人口 30,439人
世帯数 13,572世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレフォンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X（旧ツイッター）
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
<https://page.line.me/?accountid=ibarakitown>



里山に育む生きものたち

No.152 ムラサキサギゴケ
(シソ目 サギゴケ科)

学名 *Mazus miquelii* Makino

写真・文 安 昌美

(4月頃撮影)

▼ムラサキサギゴケとは
多年草で、水田の畔や河川敷などに生える。葉は対生で、湿った日当たりのよい草地に生えていた。九州内では本州・四国・朝鮮半島、中国、台湾には分布しています。県内でも、春に各地に見られます。春に田んぼや小川の近くを注意してみると、出合います。

▼名前のはなし
前のまが、少しハグサ科に似ていますが、少しは異なる。D N Aの塩基配列に基づいて分子系統学が、サギゴケ属のサギゴケ科として独立した属として認められています。サギゴケ属は20科ほどあり、日本にはそのうち4種が知られており、茨城町では2種を確認しています。

▼ムラサキサギゴケは漢字で「紫鷲」です。鷲は鳥の一種で、花の形を鳥の鷲（サギ）にたとえ、昔は地面の表面に張り付くように葉を広げて、苔（ゼニゴケ）やシロバナサギゴケ（紫）などのコケ植物とつけたと考えられます。ムラサキ（紫）は花の色からでしょう。そして、白花のものをサギゴケ、シロバナサギゴケと呼ぶようになっています。

▼ムラサキサギゴケの受粉は、上唇と下唇に二裂し、下唇の斑紋は蜜を求め、ハナバチ類が蜜を求めてやってきたときに、蜜は当然ですが、花粉を運んでもらうのに役立つので、さらには、花の先端の柱頭と呼ばれる部分の二裂し、花粉を受け取ると素早く花

配列に基づいて分子系統学が、サギゴケ属のサギゴケ科として独立した属として認められています。サギゴケ属は20科ほどあり、日本にはそのうち4種が知られており、茨城町では2種を確認しています。

▼ムラサキサギゴケは漢字で「紫鷲」です。鷲は鳥の一種で、花の形を鳥の鷲（サギ）にたとえ、昔は地面の表面に張り付くように葉を広げて、苔（ゼニゴケ）やシロバナサギゴケ（紫）などのコケ植物とつけたと考えられます。ムラサキ（紫）は花の色からでしょう。そして、白花のものをサギゴケ、シロバナサギゴケと呼ぶようになっています。



サギゴケ
(シロバナサギゴケ)

▼ムラサキサギゴケの受粉は、上唇と下唇に二裂し、下唇の斑紋は蜜を求め、ハナバチ類が蜜を求めてやってきたときに、蜜は当然ですが、花粉を運んでもらうのに役立つので、さらには、花の先端の柱頭と呼ばれる部分の二裂し、花粉を受け取ると素早く花

ちびっ子アート いばらき幼稚園



「だいすき♡なかよし3姉妹」
わたひき れな(5歳)



「にじとフルーツ」
きっかわ れい(5歳)